

## 第9回和歌山県データ利活用コンペティション募集要項

### 1 開催趣旨

和歌山県は、総務省統計局や独立行政法人統計センターと共に、「日本のデータ利活用拠点」として、データ利活用に関する分析・研究や情報発信、人材育成、連携・支援に取り組んでいます。その取組の一つとして、データ利活用の重要性・有用性を発信するとともに、次世代の日本を担うデータサイエンス人材を育成すべく、全国の高校生、大学生等を対象に、行政課題に対するデータを利活用した解決アイデアを募集する「第9回和歌山県データ利活用コンペティション」を開催します。

若い世代の皆さんにとって、本コンペティションへの参加が、地域の現状をよりよく理解し、データを利活用して物事を客観的かつ正確に捉えることの重要性を再認識するきっかけになれば幸いです。

### 2 募集内容

#### (1) 募集テーマ（高校生の部・大学生の部共通）

#### 「デジタル化が進む社会における持続可能な地域づくり」

募集テーマを踏まえ、あなたのゆかりのある地域（都道府県単位や市区町村単位のほか、任意の地域設定も可）の現状・課題をデータに基づき分析し、オリジナルのアイデアを提案してください。

#### 【具体例】

- 子育て世帯の負担を限りなくゼロにするための施策
- デジタル地域通貨を活用した新しい地域コミュニティのあり方
- 付加価値を生み出し、地域を活性化するための施策
- 脱炭素の取組で、自然と共生する地域づくり
- AI技術で需要と供給を予測し、食品ロスを削減するための施策
- メタバースを活用した交流人口を創出するための施策

など、自由な視点でオリジナルのアイデアを提案してください。

#### 【活用データ例】

- 各種公的統計データ（e-Stat、RESAS等）
- 各地方公共団体が公表するオープンデータ
- 民間が公表しているオープンデータ
- 応募者自身が独自に行ったアンケート調査データ 等

※ 分析に使用するデータや分析ツールについて制限はありませんが、参考にした既存の統計や分析結果等がある場合は、資料出所を必ず記載してください。（URLのみの記載は不可）

#### (2) 応募要件

- ✓ 募集テーマに基づく提案であること
- ✓ データ分析から得られるエビデンス（客観的証拠）に基づく施策提案であるとともに、応募者が発案したオリジナルなものであって、第三者の著作権を侵害していないこと
- ✓ 国や都道府県・市町村、その他民間機関等が主催するコンテスト等において受賞歴のある

作品を内容の変更なく応募することは不可であること

- ✓ 現状及び課題について、データに基づく分析を行っていること
- ✓ 令和7年12月13日（土）に開催する最終審査会に参加可能であること  
（最終審査会の詳細については「審査の流れ」を参照してください）

### (3) 募集期間

令和7年4月1日（火）～10月9日（木）

## 3 募集区分

高校生部門	高等学校、高等専門学校1年から3年まで、専修学校高等課程、特別支援学校高等部の在学学生
大学生部門	大学、大学院、短期大学、高等専門学校4・5年、専修学校専門課程・一般課程の在学学生

※1 高校生部門に参加される場合は必ず指導教員を1名付けてください。

※2 複数人でのグループ参加も可能です。各チームの人数に制限はありませんが、最終審査会の旅費支給対象人数は、下記「[5 審査の流れ](#)」>「(3) 最終審査回・表彰式について」※3のとおりです。また、グループについては、学校等の垣根を越えた編成も可能とします。

## 4 応募方法

本募集要項をよくお読みいただき、募集期間内に全ての応募書類を応募フォームから提出してください。

(1) 応募書類 ※ ファイル形式を厳守してください。

ア及びイの書類を提出してください。

ア 応募用紙(ファイル形式 Microsoft Word)

イ プレゼン資料(ファイル形式 Microsoft PowerPoint又はPDF)

※ 「ア 応募用紙」の様式は、募集サイトからダウンロードしてください。

【募集サイトURL】

[https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/competition/2025\\_9.html](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/competition/2025_9.html)

※ 「イ プレゼン資料」の様式は任意ですが、ファイル形式は厳守してください。

※ 「イ プレゼン資料」のファイルの容量は、9 MB以下としてください。

※ 「イ プレゼン資料」の枚数は、最終審査会でプレゼンテーションすることを想定した枚数にまとめてください。プレゼンテーションの時間は、高校生部門10分、大学生部門14分を予定しています。

※ 応募書類が不足していたり、ファイル形式が異なる場合は受付できません。

(2) 応募フォームURL : <https://logoform.jp/f/wcBwx>

※ 原則、応募フォームからの受付のみとさせていただきます。

※ 応募フォームによる送信完了後、受信確認メール（自動送信）が届きます。

（届かない場合は、お手数ですが、事務局までお問合せください。）

※ 万が一、応募フォームによる送信が出来ない場合は、恐れ入りますが事務局まで御連絡ください。

## 5 審査の流れ

(1) 審査の観点

提案作品は、次の観点から審査します。

なお、応募書類の不備や誤りなど、資料の完成度も審査します。

ア：データ利活用の観点

- ・データを適切に利活用し、独自の着眼点からデータを分析し、地域の現状や課題を抽出できているか

イ：施策提案の観点

- ・募集テーマに基づいた独自性・将来性のある施策提案であり、データ分析から得られたエビデンス（客観的証拠）に基づいているか

(2) 審査方法及び審査員

事前審査	事務局による形式的な書類審査を行います。
一次審査	学識経験者による書類審査を行い、最終審査に進出する参加者を決定します。一次審査結果は、合否にかかわらず11月末までに応募代表者宛てにメールで通知します。
最終審査	最終審査会においてプレゼンテーションを行っていただき、学識経験者及び関係行政機関の職員による厳正な審査に基づき、入賞作品を決定します。

(3) 最終審査会・表彰式について

<p>日時：令和7年12月13日（土）10:00～（予定）                  会場：和歌山県データ活用推進センター                  （和歌山県和歌山市東蔵前丁3番17南海和歌山市駅ビル5階）</p>
--

- ※1 午前は高校生部門、午後は大学生部門を審査し、審査終了後表彰式を実施します。
- ※2 一次審査通過者は必ず最終審査会に出席してください。（高校生部門は必ず指導教員も出席してください。）
- ※3 最終審査会に出席するために必要な旅費は、県の規定に基づき算出した額を1チームにつき3名分（高校生の場合は指導教員1名分を追加した額（合計4名分））まで支給します。

6 入賞区分及び賞

入賞区分	入賞点数
大賞（副賞：商品券20万円）	各部門につき1点
データ利活用賞（副賞：商品券5万円）	各部門につき1点
政策アイデア賞（副賞：商品券5万円）	各部門につき1点

※ 大賞の受賞者には、賞状、楯及び副賞、その他の受賞者には、賞状及び副賞を贈呈致します。

7 その他

(1) 著作権

応募物の著作権は応募者本人に帰属しますが、県が広報・宣伝の目的、または公共の利益のために利用・複製することは無償で認められるものとします。

(2) 個人情報の取扱いについて

- ・ 応募の際にいただいた個人情報は、本コンペティション運営のためにのみ利用します。
- ・ 取得した個人情報を第三者に提供することはありません。ただし、県ホームページにおいて、受賞者及び指導教員の氏名を公開することがあります。

(3) 本コンペティションに関するお問い合わせ窓口（事務局）

和歌山県企画部企画政策局企画課（和歌山県データ利活用推進センター）

住所 〒640-8203 和歌山県和歌山市東蔵前丁3番17 南海和歌山市駅ビル5階

TEL 073-488-2430 / FAX 073-488-2432 / Mail [e0201003@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0201003@pref.wakayama.lg.jp)

(4) 主催

和歌山県